

第86回（一社）日本脳神経外科学会 中国四国支部学術集会

プログラムおよび講演要旨

平成30年12月8日(土)

会場 愛媛大学城北地区共通講義棟A

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

会長 國枝 武治

(愛媛大学医学部 脳神経外科)

第86回（一社）日本脳神経外科学会 中国四国支部学術集会

プログラムおよび講演要旨

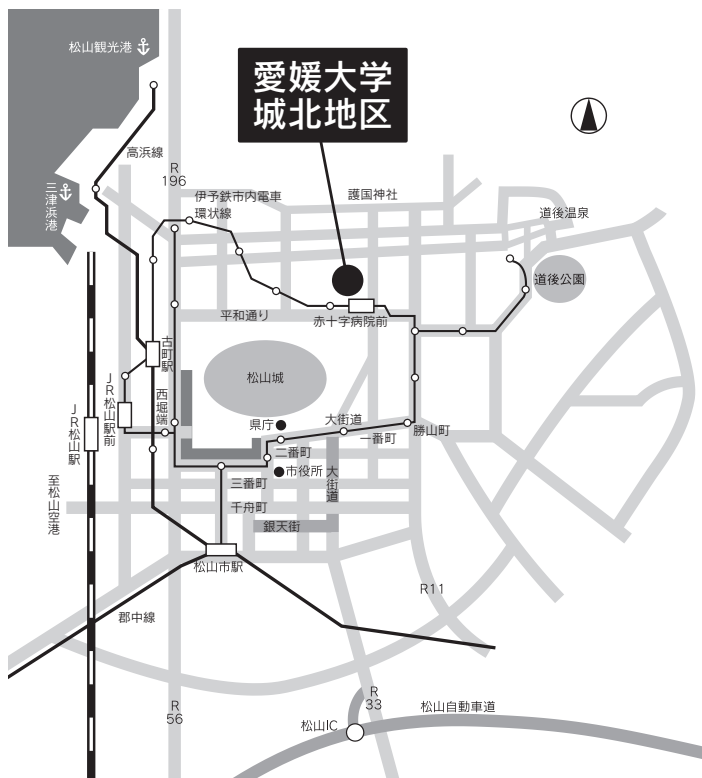
平成30年12月8日(土)

会場 愛媛大学城北地区共通講義棟A

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

会長 國枝 武治
(愛媛大学医学部 脳神経外科)

愛媛大学
城北地区



●飛行機をご利用の方

松山空港より空港リムジンバスで約20分「JR 松山駅前」下車、伊予鉄道市内電車環状線（古町方面行き）で約20分「赤十字病院前」下車、北へ徒歩約5分

●船をご利用の方

松山観光港より松山観光港リムジンバスで約20分「JR 松山駅前」下車、伊予鉄道市内電車環状線（古町方面行き）で約20分「赤十字病院前」下車、北へ徒歩約5分

●JR をご利用の方

JR 松山駅から伊予鉄道市内電車環状線（古町方面行き）
で約20分「赤十字病院前」下車、北へ徒歩約5分

※なお、会場には駐車場はありませんので、できるだけ公共交通機関をご利用いただきますようお願い申し上げます。

会場案内図



ご 案 内

参加者の皆様へ

- 12月8日(土) 8:30より参会受付を開始いたします。
- 参会受付は、(一社)日本脳神経外科学会 IC 会員カードを利用いたします。 IC 会員カードをお持ちの方は、必ずご持参の上、受付にてご自身の IC 会員カードを IC カードリーダーに読み取らせ、参会受付、専門医クレジット（専門医の方のみ）の登録を行ってください。その後、ネームカード(領収証)をお渡しします。IC 会員カードをお持ちでない方は、受付にてお申し出ください。
- 参会費（2,000円）は、現金でお支払いくださいますようお願いいたします。クレジットカード決済は受け付けできません。
- 会場内ではネームカード（領収証）に所属・氏名を記入のうえ、必ず携帯してください。
- ネームカード（領収証）の再発行はできませんので大切に保管してください。
- プログラムおよび講演要旨集は学会当日に必ずご持参ください。ご希望の方には、受付にて1部1,000円で販売いたしますが、ご用意できる数には限りがありますのでご了承ください。

座長・コメンテーターの皆様へ

- 担当セッション開始10分前までに、次座長席にお着きください。
- コメンテーターの方は、各セッション終了時に3分程度でセッション全体のコメントをお願いします。

演者の皆様へ

講演時間：5分

討論時間：2分

コメンテーターによるコメント：3分（各セッション終了時）

発表形式：コンピュータ PC プレゼンテーション

- ご発表の15分前までに次演者席にお着きください。
- ご発表の1時間前（最初のセッションは20分前）までに会場前のPC受付にて受付を行ってください。
- 口演発表はすべてPC発表（PowerPoint）のみといたします。
- 発表データは、Windows PowerPoint 2003～2013のバージョンで作成してください。

※PowerPoint 2016には対応しておりません。

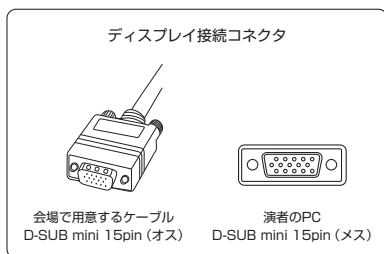
- PowerPointの「発表者ツール」は使用できません。
発表用原稿が必要な方は各自ご準備ください。
- データ持込、PC本体持込のいずれの場合でも、スライド送りの操作は、演台上のマウス、キーボードにてご自身で操作していただきます。
- 発表スライドの1枚目に、筆頭演者のCOI状態について開示するスライドの作成をお願いいたします。詳細は（一社）日本脳神経外科学会ホームページまたはP6の「COI状態の開示について」をご参照ください。

〈データ発表の場合〉

- 作成に使用されたPC以外でも必ず動作確認を行っていただき、USBフラッシュメモリーでご持参ください。
- フォントは文字化け、レイアウト崩れを防ぐため下記フォントに限定させていただきます。
MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝、Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
- 発表データは学会終了後、事務局で責任を持って消去いたします。

〈PC 本体持込みによる発表の場合〉

- Macintosh で作成したものと動画・音声データを含む場合は、ご自身の PC 本体をお持込みください。
- 会場で用意する PC ケーブルコネクタの形状は、D-SUB mini 15pin（図参照）です。この出力端子を持つ PC をご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご持参ください。デジタル出力（HDMI）の出力端子しか無い PC は HDMI→D-SUB の変換アダプターも必要です。電源ケーブルもお忘れなくお持ちください。



（図）

- 再起動をすることがありますので、パスワード入力は“不要”に設定してください。
- スクリーンセーバーおよび省電力設定は事前に解除しておいてください。
- 動画データ使用の場合は、Windows Media Player で再生可能であるものに限定いたします。

COI 状態の開示について

一般社団法人 日本脳神経外科学会では利益相反「Conflict of Interest（以下 COI と略す）」状態を適切にマネジメントする「医学研究の COI に関する指針および細則」を定めました（平成24年1月1日より施行）。

これにより、本会では、すべての発表者に対して、発表スライドの2枚目（タイトルの後）に利益相反の開示を必ず提示いただきます。提示する様式は次の通りです。詳細および様式のテンプレートにつきましては、日本脳神経外科学会ホームページ（<http://jns.umin.ac.jp/>）をご覧ください。

※過去3年間の COI 自己登録が完了していない場合には、演題登録・学会発表が行えません。

演題発表に際しての COI 開示例

1) 開示すべき COI がない場合のスライド

開示すべきCOIがない場合のスライド	様式1
脳動脈瘤の外科治療(演題名)	
日本脳神経外科病院(施設名)	
脳外科 太郎(氏名)	
筆頭演者は日本脳神経外科学会へ過去3年間のCOI自己申告を完了しています 本演題の発表に際して開示すべきCOIはありません	

2) 開示すべき COI がある場合のスライド

開示すべきCOIがある場合のスライド

脳動脈瘤の外科治療(演題名)

日本脳神経外科病院(施設名)

脳外科 太郎(氏名)

筆頭演者は日本脳神経外科学会へ過去3年間のCOI自己申告を完了しています

開示すべきCOIがある場合のスライド

筆頭演者のCOI開示

日本脳神経外科学会へのCOI自己申告を完了しており、
過去3年間(いずれも1月～12月)において本講演に関して開示すべきCOIは以下の通りです

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 役員、顧問職 | なし |
| 2. 株の保有 | なし |
| 3. 特許権使用料 | なし |
| 4. 講演料 | あり(〇〇製薬) |
| 5. 原稿料 | なし |
| 6. 研究費 | あり(〇〇製薬) |
| 7. その他 | なし |

金額は開示不要

日本脳神経外科病院(施設名)

脳外科 太郎(氏名)

寄付講座在籍の研究者や奨学寄附金などの外部資金によって
雇用されている研究者からの演題応募の場合には、
所属は母教室ではなく、所属施設・機関で使われる正式名称を記載し
その資金を提供している企業名を併記することが求められる

寄付講座のみ表記

〇〇大学 YZ寄付講座(同寄付講座はA製薬の寄付金にて支援されている)

or

寄付講座と母教室の併記

〇〇大学 脳神経外科・YZ寄付講座(同寄付講座はA製薬の寄付金にて支援されている)

複数の企業からの寄付金や外部資金による場合は
年間200万円以上の企業については該当する企業名をすべて記載

医療安全講習会

12月 8 日(土)15:00～16:00

FD 講習会

12月 8 日(土)17:00～18:00

- 愛媛大学城北キャンパス グリーンホールにて開催いたします。
- 医療安全講習会およびFD 講習会の受講は、学術集会参加者を対象とします。受付は講習開始30分前から講習会会場前にて行います。
- 受講確認は、(一社)日本脳神経外科学会 IC 会員カードを利用します。参会受付だけでなく、講習受付にて会員カードによる受講記録および受講証の提出が必要になります。受講希望の方はご自身の IC 会員カードをお持ちください。IC 会員カードをお持ちでない方は、受付にてお申し出ください。
- 講習受付にて配布する受講証に必要事項を記入し、受講後にご提出ください。
- 本学術集会では、日本脳神経外科学会学術総会または日本脳神経外科コンgresに於いて行われた医療安全講習およびFD 講習をビデオ上映いたします。
- 最初から最後まで視聴していただくことを受講要件としますので、途中入退室はできません。

単位取得について

- 当支部学術集会参加単位は 1 単位です。生涯教育クレジット10点も付与されます。
- 医療安全講習 (12月 8 日(土)15:00～16:00)
専門医資格更新に必要な「専門医共通講習」1 単位の取得が可能となります (「領域講習」の単位は付与されません)。日本脳神経外科学会ホームページ会員専用ページより e-learning でも受講できます。
- FD 講習 (12月 8 日(土)17:00～18:00)
専門医資格更新に必要な「領域講習」1 単位取得と指導医認定 (更新) に必要な受講歴となります。

- 領域講習単位取得、受付方法について

本学術集会の「ランチョンセミナー」「FD 講習会」は、それぞれ「領域講習 1 単位」として承認されています。「領域講習」の単位を取得するためには、参会受付の後、「領域講習入退場受付」にて、「会場にきたとき（チェックイン）」と「会場から帰るとき（チェックアウト）」に日本脳神経外科学会 IC 会員カードを利用して確認します。お持ちでない方は、「領域講習入退場受付」にお申し出下さい。「領域講習入退場受付」の記録が、滞在証明のすべてになります。チェックイン、チェックアウトのいずれかをお忘れになった場合、如何なる理由でも自己申告は受け付けておりませんので、必ず、会場にきたとき、帰るときの 2 回「領域講習入退場受付」をお忘れのないようお願いします。領域講習取得単位数は、チェックイン、チェックアウトの時間（滞在時間）によって異なります（受付時間より滞在時間を記録し、その間に開催されていた領域講習の単位が付与されます）。

また、FD 講習は、研修プログラム指導医申請に必要な受講歴となります。「領域講習入退場受付」とは別に設けます「FD 講習」受付にて FD 講習開始前（終了後）、IC 会員カードを利用して確認しますので、必要とされる方は、お忘れのないようお願いします。

- 領域講習とは 日本専門医機構認定の制度への移行により、2018 年 1 月より開始された専門医資格更新の要件のひとつです。領域講習として適当なセッションを本支部学術集会会長が指定し、日本脳神経外科学会が審査・認定し、日本専門医機構が承認しています。専門医更新に必要な単位数など詳細は、日本脳神経外科学会ホームページの会員専用ページを参照ください。
- 学術集会参加者を対象とします。
- 参加登録と同時に行う専門医クレジット登録とは異なりますので、ご注意下さい。
- 非専門医、非学会員の方は「領域講習入退場受付」「FD 講習受付」は必要ございません。

支部総会

12月 8 日(土)13:30～13:50

共通講義棟Aにて行います。支部長、支部理事、支部監事、支部代議員の方はご参集ください。

支部理事会

12月 7 日(金)17:00～18:00

愛媛大学城北地区 校友会館 2F ミーティングルームにて行います。支部理事の方はご参集ください。

第85回(一社)日本脳神経外科学会中国四国支部学術集会 優秀論文賞受賞者表彰式および受賞講演

12月 8 日(土)13:05～13:25

開催日：平成30年 4 月 7 日(土)・ 8 日(日)

会 長：宇野 昌明 先生（川崎医科大学 脳神経外科）

優秀論文賞受賞演題と演者

演題番号 2

草刈機による左頭蓋・顔面損傷の 1 例

竹村 光広 先生

（高知県・高知市病院企業立高知医療センター 脳神経外科）

演題番号17

コイル塞栓術後に異常信号変化を認めた二例

船橋 卯 先生（岡山東部脳神経外科病院）

演題番号20

脳腫瘍との鑑別に苦慮した Cerebral amyloidangiopathy
related inflammation の 1 例

井上 明宏 先生

（愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経外科学）

- 受賞者の先生方は、受賞講演（5分程度）をお願いいたします。ご発表の1時間前までに会場前のPC受付にて動作確認を行って下さい。

（ ）支部学術集会発表時所属

過去優秀論文賞受賞者リスト

第75回 平成25年4月6日(土)・7日(日)

- 高井 洋樹 先生 (川崎医科大学 脳神経外科)
今田 裕尊 先生 (東広島医療センター 脳神経外科)
西本 陽央 先生 (社会医療法人近森会近森病院 脳神経外科)

第76回 平成25年12月7日(土)

- 村上 太郎 先生 (広島市立安佐市民病院 脳神経外科)
近藤 聡彦 先生 (岡山大学大学院 脳神経外科)
江田 大武 先生 (島根大学医学部 脳神経外科)

第77回 平成26年4月5日(土)・6日(日)

- 瀬山 剛 先生 (松山赤十字病院 脳神経外科)
米澤 公器 先生 (呉医療センター・中国がんセンター 脳神経外科)
山口 真司 先生 (徳島大学 脳神経外科)

第78回 平成26年12月6日(土)

- 藤森 健司 先生 (香川県立中央病院 脳神経外科)
山根 亜希子 先生 (山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科)
桑原 政志 先生 (東広島医療センター 脳神経外科)

第79回 平成27年4月11日(土)・12日(日)

- 小割 健太郎 先生 (岡山旭東病院 脳神経外科)
米澤 潮 先生 (島根県立中央病院 脳神経外科)
畝田 篤仁 先生 (香川労災病院 脳神経外科)

第80回 平成27年12月5日(土)

- 木下 景太 先生 (川崎医科大学 脳神経外科)
西川 真弘 先生 (愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経外科学)
松田 拓 先生 (徳島赤十字病院 脳神経外科)

第81回 平成28年 4 月 2 日(土)・3 日(日)

- 村井 智 先生 (岩国医療センター 脳神経外科)
大庭 秀雄 先生 (東広島医療センター 脳神経外科)
辻 将大 先生 (島根大学医学部 脳神経外科)

第82回 平成28年12月 3 日(土)

- 萩原 伸哉 先生 (島根大学医学部 脳神経外科)
榎本 紀哉 先生 (徳島大学 脳神経外科)
原 慶次郎 先生 (川崎医科大学 脳神経外科)

第83回 平成29年 4 月 8 日(土)・9 日(日)

- 佐々木 達也 先生 (岡山大学 脳神経外科)
森田 匠 先生 (倉敷中央病院 脳神経外科)
串原 義啓 先生 (寺岡記念病院 脳神経疾患治療センター)

第84回 平成29年12月 9 日(土)

- 小川 祐佳里 先生 (川崎医科大学 脳神経外科)
奥 高行 先生 (済生会下関総合病院 脳神経外科)
高田 賢介 先生 (倉敷中央病院 脳神経外科)

()支部学術集会発表時所属
支部学術集会演題番号順掲載

日 程 表

	共通講義棟 A11	グリーンホール
8:30	受付開始	
8:55	開会の辞 会長：國枝武治	
9:00	脳腫瘍 1 (5)	
9:40	脳腫瘍 2 (6)	
10:30		
10:35	脳腫瘍 3 (5)	
11:15	水頭症 (4)	
11:50		
12:00	ランチョンセミナー【領域講習】 「脳外科医が知っておきたいてんかんの診療」 座長：渡邊英昭 演者：川合謙介	
13:00		
13:05	第85回優秀論文賞 表彰式・受賞講演 第85回会長：宇野昌明	
13:25		
13:30	支部総会	
13:50		
13:55	脳虚血 (5)	
14:35	クモ膜下出血 (5)	14:30-15:00 受付
15:15		
15:20	血管障害 (6)	15:00-16:00 医療安全講習会
16:10	炎症・その他 (5)	
16:50	閉会の辞 会長：國枝武治	16:30-17:00 受付
16:55		
18:00		17:00-18:00 FD 講習会 【領域講習】

プログラム

12月8日(土) 会場：愛媛大学城北地区共通講義棟A

8:55～9:00 開会の辞 会長：國枝 武治（愛媛大学）

9:00～9:40 一般演題「脳腫瘍1」

座長：黒住 和彦（岡山大学）

コメンテーター：神部 敦司（鳥取大学）

01 集学的治療が著効した悪性神経膠腫の脊髄転移の一例

柴垣 慶一、河合 辰典、西崎 統

済生会今治病院 脳神経外科

02 手術アプローチを工夫し全摘し得た退形成上り腫瘍の一例

高橋 宏輝¹⁾、大庭 信二¹⁾、伊藤 陽子¹⁾、上田 猛¹⁾、
米澤 公器¹⁾、倉岡 和矢²⁾、在津 潤一²⁾

1) 呉医療センター・中国がんセンター 脳神経外科

2) 呉医療センター・中国がんセンター 病理診断科

03 ヘルペス脳炎との鑑別に注意を要した

右側頭葉 glioma の1例

島袋 太一、出口 誠、藤井 奈津美、大野 真知子、
岡村 知実、池田 典生、西崎 隆文

宇部興産中央病院 脳神経外科

04 小脳出血で発症した超高齢者初発膠芽腫の1例

兼田 圭介、清水 俊彦、岡崎 三保子、西田 あゆみ、
神原 啓和

岡山赤十字病院 脳神経外科

05 広島県がん診療連携拠点病院における

WHO2016に基づいた神経膠腫病理診断体系の状況

杉山 一彦

広島大学病院 がん化学療法科

06 松果体部に転移した悪性葉状腫瘍の1例

古川 浩次¹⁾、中村 和¹⁾、大塚 祥浩¹⁾、宇都宮 裕¹⁾、
善家 喜一郎¹⁾、瀬野 利太²⁾

1)市立宇和島病院 脳神経外科

2)大洲中央病院 脳神経外科

**07 松果体部 mature teratoma 全摘後、
occult germinoma として再発した1例**

渡邊 陽祐¹⁾、武智 昭彦¹⁾、梶原 佳則¹⁾、三好 浩之¹⁾、
山崎 文之²⁾、杉山 一彦³⁾

1)松山赤十字病院 脳神経外科

2)広島大学大学院 医歯薬保健学研究科脳神経外科学

3)広島大学病院 がん化学療法科

08 術前診断が困難であった嚢胞性下垂体細胞腫の1例

田口 慧、木下 康之、碓井 智、森岡 博美、栗栖 薫
広島大学大学院医歯薬保健学研究科 脳神経外科学

09 髄膜癌腫症に対する外科治療の検討

田尾 良文、原 慶次郎、木下 景太、高井 洋樹、
平井 聡、八木 謙次、松原 俊二、宇野 昌明

川崎医科大学 脳神経外科

**10 非典型的な画像所見を呈した中頭蓋窩
Epidermoid cyst の一例**

中溝 一允、大下 昇、定永 浩、志摩 秀広

下関医療センター 脳神経外科

**11 Th1以遠に独立した脊髓空洞症を伴った
C1/2部血管芽腫の一例**

守本 純、安原 隆雄、金 恭平、馬越 通有、富田 陽介、
河内 哲、伊達 勲

岡山大学大学院 脳神経外科

座長：福田 仁（高知大学）

コメンテーター：原 慶次郎（川崎医科大学）

12 多発全身転移をきたした atypical meningioma の 1 例

土師 康平¹⁾、五島 久陽¹⁾、貞廣 浩和¹⁾、野村 貞宏¹⁾、
仲田 成美²⁾、池田 栄二²⁾、鈴木 倫保¹⁾

1) 山口大学大学院医学系研究科 脳神経外科

2) 山口大学大学院医学系研究科 病理形態学分野

13 眼窩内に発生した solitary fibrous tumor の一例

家護谷 泰仁、五月女 悠太、松田 勇輝、佐藤 悠、
田邊 智之、村岡 賢一郎、廣常 信之、西野 繁樹
広島市立広島市民病院 脳神経外科・脳血管内治療科

14 トルコ鞍内孤発性線維性腫瘍の一例

鈴木 健太、小川 大輔、新堂 敦、岡田 真樹、
畠山 哲宗、岡内 正信、川西 正彦、三宅 啓介、
田宮 隆

香川大学医学部 脳神経外科

15 頭蓋内に発生した Ewing Sarcoma の 1 例

畠田 昇一¹⁾、藤原 敏孝¹⁾、中島 公平¹⁾、溝渕 佳史¹⁾、
岡村 和美²⁾、渡辺 浩良²⁾、高木 康志¹⁾

1) 徳島大学 脳神経外科

2) 徳島大学 小児科

16 神経内視鏡を併用して摘出し得た多発性前額部骨腫の一例

永瀬 喬之、高杉 祐二、駿河 和城、平野 秀一郎、
井上 智、渡邊 恭一、桐山 英樹、徳永 浩司、
松本 健五

岡山市立市民病院 脳神経外科

座長：野村 貞宏（山口大学）

コメンテーター：木下 康之（広島大学）

**17 未破裂脳動脈瘤コイル塞栓術後に生じた
遅延型水頭症の一例**

長尾 裕一郎、中島 定男、鳥橋 孝一、吉岡 裕樹、
宇野 哲史、神部 敦司、坂本 誠、黒崎 雅道
鳥取大学医学部 脳神経外科

**18 腹壁癒着によって VP shunt 術後に
腹腔内脳脊髄液吸収障害を来した一例**

安田 慎一、萩原 伸哉、内村 昌裕、江田 大武、
神原 瑞樹、吉金 努、永井 秀政、秋山 恭彦
島根大学医学部 脳神経外科

**19 大槽－腹腔シャント造設後に難治性腹水と
陰嚢水腫を合併した両側脈絡叢過形成の一例**

胡谷 侑貴¹⁾、堀 佑輔¹⁾、青井 瑞穂¹⁾、福原 徹¹⁾、
永喜多 敬奈²⁾、神農 陽子²⁾
1)独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 脳神経外科
2)独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 病理部

20 リング開創器によるシャント手術時開腹操作について

竹村 光広、太田 剛史、岡田 憲二、津野 隆哉、
政平 訓貴、福田 真紀、松岡 賢樹
高知県・高知市病院 企業団立高知医療センター 脳神経外科

12:00～13:00 ランチョンセミナー【領域講習】

座長：渡邊 英昭（愛媛大学）

脳外科医が知っておきたいてんかんの診療

－2018ガイドライン、予防的投薬、運転指導など－

川合 謙介（自治医科大学医学部 脳神経外科）

共催：エーザイ株式会社

13:05～13:25 第85回優秀論文賞表彰式・受賞講演

第85回会長：宇野 昌明（川崎医科大学）

座長：兼松 康久（徳島大学）

コメンテーター：石原 秀行（山口大学）

21 高ホモシステイン血症により多発性脳梗塞をきたした1例

田中 裕輔¹⁾、川上 真人¹⁾、村井 智²⁾、木谷 尚哉²⁾、
祢津 智久³⁾、栗山 充夫¹⁾、寺坂 薫¹⁾

1)国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 脳神経外科

2)岡山大学大学院 脳神経外科

3)広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 脳神経内科

**22 両側頸動脈椎骨動脈吻合を伴った両側内頸動脈
狭窄症に対してCASを施行した1例**

清水 剛¹⁾、竹内 啓九¹⁾、宍戸 尚¹⁾、野島 丈夫¹⁾、
坂本 誠²⁾、田中 健一郎³⁾

1)医療法人十字会 野島病院 脳神経外科

2)鳥取大学医学部 脳神経外科

3)鳥取大学医学部 脳神経内科

**23 Persistent primitive proatlantal artery type-1を
合併した脳塞栓症に対して急性期血行再建術を行った1例**

松本 淳志、藪野 諭、菅田 峻光、平下 浩司、
柚木 正敏、吉野 公博

労働者健康福祉機構 香川労災病院 脳神経外科

24 脳底動脈塞栓症に対する血管内治療の検討

松田 真伍、井川 房夫、日高 敏和、吉山 道貫、
大庭 秀雄

島根県立中央病院 脳神経外科

25 広島中央医療圏における超急性期脳梗塞治療の現状

原 健司、貞友 隆、落合 淳一郎、大西 俊平、勇木 清
東広島医療センター 脳神経外科

座長：田川 雅彦（愛媛大学）

コメンテーター：政平 訓貴（高知医療センター）

26 内頸動脈前壁動脈瘤破裂によるくも膜下出血の1例

蔭山 彩人、佐藤 浩一、花岡 真実、佐藤 裕一、
倉敷 佳孝、松崎 和仁

徳島赤十字病院 脳神経外科

27 急速に血栓化した小型破裂内頸動脈瘤の1例

庄野 健児、亘 裕也、田村 哲也、高瀬 憲作、
新野 清人

徳島県立中央病院 脳神経外科

28 破裂IC-PC脳動脈瘤クリッピング術後

20年以上経過して瘤の再破裂をきたした2例

日下部 公資、河野 兼久、福本 真也、藤原 聡、
麻生 健伍、市川 晴久、尾上 信二、岩田 真治、
大上 史朗

愛媛県立中央病院 脳卒中センター 脳神経外科

29 P-comに奇形を伴う、true P-com aneurysmの一例

金子 聡、須山 嘉雄、大仲 佳祐、岡田 朋章、相原 寛、
若林 伸一

翠清会梶川病院 脳神経外科

**30 くも膜下出血で発症し、Persistent primitive
trigeminal arteryを合併した多発性脳動脈瘤**

瀬野 利太¹⁾、西原 潤¹⁾、田川 雅彦²⁾、松本 調²⁾

1)大洲中央病院 脳神経外科

2)愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学

座長：川西 正彦（香川大学）

コメンテーター：岡崎 貴仁（広島大学）

**31 合併症 ZERO を目指した開頭クリッピング術
における穿通枝剥離の工夫**

坪井 俊之¹⁾、梶原 洋介¹⁾、茶木 隆寛¹⁾、向田 一敏¹⁾、
高柿 尚始²⁾、浅野 拓²⁾、梶原 四郎¹⁾

1) 五日市記念病院 脳神経外科

2) 廿日市記念病院 脳神経外科

**32 スtent支援下コイル塞栓術後の再発性
脳動脈瘤に対する開頭クリッピング術**

松重 俊憲¹⁾、坂本 繁幸²⁾、下永 皓司¹⁾、細貝 昌弘¹⁾、
橋本 幸繁¹⁾、溝上 達也¹⁾

1) 広島市立安佐市民病院 脳神経外科

2) 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 脳神経外科学

33 くも膜下出血で発症した幼児の前交通脳動脈瘤の一例

竹下 真一郎¹⁾、富永 篤¹⁾、岐浦 禎展¹⁾、籬 拓郎¹⁾、
迫口 哲彦¹⁾、近藤 浩¹⁾、前田 雄洋¹⁾、栗栖 薫²⁾

1) 県立広島病院 脳神経外科 脳血管治療科

2) 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 脳神経外科学

34 耳出血を発症した錐体骨部仮性内頸動脈瘤の1例

安岐 智晴、松本 調、田川 雅彦、篠原 朋生、
渡邊 英昭、國枝 武治

愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学

**35 髄膜腫に対する栄養動脈塞栓術中に生じた
中硬膜動静脈瘻の一例**

桑原 政志、中岡 光生、大林 直彦、矢原 快太、
並河 慎也

松江赤十字病院 脳神経外科

36 ASL(arterial spin-labeling)－MRA と
FSE(fast spin-echo)－MRC を組み合わせた
3D-multifusion image による

Coil 治療後脳動脈瘤の neck/dome の画像評価

佐藤 透¹⁾、菱川 朋人²⁾、平松 匡文²⁾、杉生 憲志²⁾、
伊達 勲²⁾、大田 慎三³⁾

1) 佐藤脳神経外科

2) 岡山大学大学院 脳神経外科

3) 脳神経センター大田記念病院 脳神経外科

16:10～16:50 一般演題「炎症・その他」

座長：萩原 伸哉（島根大学）

コメンテーター：安原 隆雄（岡山大学）

37 クモ膜下出血（SAH）の所見・経過と類似し
開頭クリッピング術を施行した

抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例

高田 賢介、紀之定 昌則、林 智子、藤本 優貴、
氏原 匡樹、森田 匠、上里 弥波、山下 北斗、
黒崎 義隆、石橋 良太、半田 明、沈 正樹、山形 専
倉敷中央病院 脳神経外科

38 脳内出血を繰り返した感染性心内膜炎の 1 例

三野 智、劔持 直也、豊嶋 敦彦、藏本 智士、
勝間田 篤、市川 智継、小野 恭裕、合田 雄二、
河内 正光

香川県立中央病院 脳神経外科

39 症候性造影剤脳症の一例

松本 敦仁¹⁾、坂本 繁幸²⁾、露口 冴¹⁾、隅田 昌之¹⁾

1) 広島赤十字・原爆病院 脳神経外科

2) 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 脳神経外科学

40 てんかん発症した側頭葉腫瘍の一例

浦川 学、藤井 正美、長綱 敏和、長光 逸、
金子 奈津江、安田 浩章、山下 哲男

山口県立総合医療センター 脳神経外科

41 隅角解離を伴った腰椎椎間板ヘルニアの1例

生島 健太、萩原 浩太郎、枝木 久典、菅原 千明、
新治 有径、伊丹 尚多、大塚 真司、日下 昇、西浦 司
岩国医療センター 脳神経外科

16:50～ 閉会の辞

会長：國枝 武治（愛媛大学）